

【概要】

平成 24 年度上半期 フラット35利用者調査

I. 調査の概要

フラット35を利用された方の社会的属性、住宅の概要などに関して、金融機関から買取又は付保の申請があった債権で、平成 24 年 4 月 1 日から平成 24 年 9 月 30 日までに買取又は付保の承認を行ったもののうち 39,734 件(平成 23 年度上半期は 53,003 件)について集計

II. 調査結果の主なポイント

1 30 歳代の構成比が低下

30 歳代の構成比が低下した。全体では 23 年度上半期の 52.1%から 24 年度上半期は 48.1%と 50%を下回った。土地付注文住宅では 23 年度上半期の 58.9%から 24 年度上半期は 55.5%へと低下したものの、依然として 50%台を維持している。〈p1、p3〉

2 1 人世帯の構成比が低下(マンション)

1 人世帯の構成比は、マンション全体で 23 年度上半期の 17.7%から 24 年度上半期は 16.5%へと小幅低下した。女性申込者では 40.6%から 33.8%と低下が著しい。〈p1、p4、p6〉

3 年収 400 万円未満の構成比が上昇

全体では世帯年収 400 万円未満の構成比が 23 年度上半期の 17.6%から 24 年度上半期は 20.5%へと上昇している。特に、マンションでは、年収 400 万円未満の構成比が 9.2%から 12.4%へと 10%を上回っている。〈p2、p7〉

4 総返済負担率 20%未満の構成比が上昇

全体では総返済負担率 20%未満の構成比が 23 年度上半期の 36.1%から 24 年度上半期は 39.7%へと上昇し、約 40%となった。中古マンションでは総返済負担率 20%未満の構成比が 53.5%から 61.2%へと上昇し、60%を上回った。〈p2、p16〉